

# 真珠湾攻撃によって起こったこと

Key words ハワイ、二世、差別

## 1 活用する主な展示および資料

- 展示「証言映像」【戦中】(ジョージ・ヒデオ・タカバヤシ氏)
- ハワイ日系人の生活を伝える展示、442連隊に関する展示
- 真珠湾攻撃について伝える当時のハワイやアメリカの新聞(「いみんトランク」教材より)
- 紙芝居「ハワイにわたった日系移民」



## 2 教科・領域との関連性および総時間数

- 小学校社会科、中学校社会科(歴史的分野)
- 全4時間(事前1時間、見学2時間、事後1時間)



## 3 目標

- 太平洋戦争の開戦となった真珠湾攻撃によって、ハワイで生活する日本人移民、日系二世に何が起こったのかを理解することができる。【知識・技能】
- 資料、紙芝居、証言映像などの展示から考えを深め、当時の人々の気持ちを想像し、自分の考えを表現している。【思考・判断・表現】
- 真珠湾攻撃によって日本人移民・日系二世に起こったことについて、意欲的に展示から学ぼうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】



## 4 単元について(教材観・単元設定の理由・資料館活用の視点など)

「真珠湾攻撃」について、太平洋戦争の始まりとして教科書に記述があり、子どもたちは真珠湾に停泊していたアメリカの戦艦が煙の中で傾いている写真資料を見て学習する。しかし、ハワイには多くの日本人移民や二世の子どもたち・若者が生活をしていて、日本軍による攻撃によって苦難の日々が始まったことについて、学ぶ機会はあまりない。戦争によって困難な状況に陥るのは、当該国の兵士だけでなく、そこに生活する人々も同じである。それは過去の世界大戦だけではなく、現代に起こる戦争においても共通する。現在のグローバル化に先駆けて海を渡り海外で生活していた日本人移民とその子どもたちが、戦争において「敵性外国人」となり、どのような状況に陥り、どのような選択をしたのかについて学ぶことで、戦争、人権、平和について考えを深める機会としたい。

過去となった太平洋戦争について、ジョージ・ヒデオ・タカバヤシ氏の証言映像を通して、人を通して戦争を理解する学びの経験をし、今後の戦争や平和について学習する時の一つの「学び方」としても役立ててほしい。

\*長くアメリカ軍で働き、引退後はハワイ日系人連合会会長を務め、日系社会のまとめ役として活躍した。

## 5 展開計画

| 流れ    | 主な学習活動と子ども（学習者）の意識  | 留意点  |
|-------|---|--|
| 事前学習  | <ol style="list-style-type: none"> <li>紙芝居「ハワイにわたった日系移民」を読もう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●たくさんの日本人がハワイで働いていた。</li> <li>●戦争が起こった時は大変そうだったことがわかる。</li> </ul> </li> <li>ハワイで生まれた人は日本人なのか？アメリカ人なのか？</li> <li>真珠湾攻撃が起こった時、人々の生活や立場はどうなったのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●資料館で詳しく調べよう。</li> </ul> </li> </ol>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●事前学習なので、事実の追求に深入りをせず、疑問について資料館で調べようとする姿勢をもたせるようにする。</li> <li>●資料館見学に向けて、ハワイの移民以外にも調べたいことがあればメモを作成させる。</li> </ul>   |
| 資料館見学 | <ol style="list-style-type: none"> <li>ハワイでの生活の様子がわかる展示を探そう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●プランテーションの展示がある。</li> <li>●紙芝居で見た服装やアルミ製の弁当箱がある。</li> </ul> </li> <li>タカバヤシさんの証言映像を見よう。<br/>「今日現在みんな除隊だ。理由は君たちは日本人の血が流れているから」と言われた時、「男泣きした」時のタカバヤシさんの気持ちを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●差別をされて悔しかったんだと思う。</li> <li>●ハワイでアメリカの教育を受けて育ったのに、否定されて辛かったと思う。</li> </ul> </li> <li>第二次世界大戦中に、日本人・二世に他にどんなことが起こったのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●強制収容されたり、日系二世で作られた442連隊がつけられたりしたらしい。</li> </ul> </li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●資料館では自由見学のスタイルではなく、小グループに分け、ハワイに関する展示とタカバヤシさんの証言映像のコーナーで教師が20分程度指導し、その場で話し合いの場を設定するか、ワークシートに書かせるようにする。その他の時間は自由見学とする。</li> <li>●証言映像コーナーでジョージ・スズキさんのような戦後広島で内科医として勤務した人も取り上げたい。</li> </ul> |
| 事後学習  | <ol style="list-style-type: none"> <li>真珠湾攻撃によって起こったことについて調べたことやわかったことについて話し合う。</li> <li>資料館の見学で心に残ったことについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●ハワイに住んでいた人たちだけでなく、南米の人たちもたくさんの苦労や活躍があったことがわかった。</li> <li>●ハワイの日系の大きな家族の写真を見て、幸せそうで良かった。</li> </ul> </li> </ol>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●本活動は、真珠湾攻撃と戦時中の二世の生き方について学ぶことを主としているが、展示内容は多様で、世界の日系人の力強さや活躍についても言及する。</li> </ul>  |

## 6 学習後の姿

社会科の歴史学習において、「真珠湾攻撃」を太平洋戦争の開戦として理解することに加え、戦争によって差別や偏見にさらされて苦しむ移民がいることは、現代でも同じであると考えることを期待したい。

## 7 授業づくりのための参考資料

- グレアム・ソールズベリー著、さくまゆみこ訳(1998)『その時ぼくはパールハーバーにいた』徳間書店
- ジョージ・タケイ、ジャスティン・アイジンガー、スティーヴン・スコット共著、ハーモニー・ベッカー画、青柳伸子訳(2020)『<敵>と呼ばれても』作品社
- JICA横浜 海外移住資料館(2007,2017)『海外移住資料館だより』No.10, No.46